

調 査 報 告 書

グループホームの外部評価項目

(調査項目の構成)

I. 運営理念

1. 運営理念の明確化
2. 運営理念の啓発

II. 生活空間づくり

1. 家庭的な生活空間づくり
2. 心身の状態にあわせた生活空間づくり

III. ケアサービス

1. ケアマネジメント
2. ホーム内でのくらしの支援
 - (1) 介護の基本の実行
 - (2) 日常生活行為の支援
 - 1) 食事
 - 2) 排泄
 - 3) 入浴
 - 4) 整容
 - 5) 睡眠・休息
 - (3) 生活支援
 - (4) ホーム内生活拡充支援
 - (5) 医療機関の受診等の支援
 - (6) 心身の機能回復に向けた支援
 - (7) 入居者同士の交流支援
 - (8) 健康管理
3. 入居者の地域での生活の支援
4. 入居者と家族との交流支援

IV. 運営体制

1. 事業の統合性
2. 職員の確保・育成
3. 入居時及び退居時の対応方針
4. 衛生・安全管理
5. 情報の開示・提供
6. 相談・苦情への対応
7. ホームと家族との交流
8. ホームと地域との交流

訪問調査日 2007年3月8日
 調査実施の時間 開始 10時 30分 ～ 終了 15時 00分

訪問先ホーム名 グループホームなごみの里
 県 千葉県柏市正連寺380

主任評価調査員
 (記入者)氏名 _____

同行調査員氏名 _____

グループホーム側対応者

職 名 _____

氏 名 _____

ヒヤリングをした職員数 _____ 2 人

※記入方法

- 調査の結果を調査員同士が話し合い、主任調査員がご記入ください。
- 「できている」「要改善」「判断不能」の欄のいずれかに○を付けて下さい。
- その判断した理由や根拠を記入して下さい。
 要改善、判断不能の場合の根拠、理由は必ずお書き下さい
- 要改善とした場合、改善すべき点等の特記事項があれば記入して下さい。

※項目番号について

- 評価項目は71項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

※用語について

- 管理者＝指定事業者としての届出上の管理者。「管理者」には、
 管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

1. 調査報告書

主任調査員氏名井田 梢

／同行調査員氏名藤田 久美子

項目番号 外部 自己	項目	でき て い る	要 改 善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
	I 運営理 1. 運営理念の明確化					
1	1 ○理念の具体化及び運営理念の共有 管理者は、痴呆性高齢者グループホーム（以下「グループホーム」という。）に関わる法令の意義を理解しており、これを自らが所属するグループホーム（以下「ホーム」という。）の運営上の方針や目標等に具体化し、介護従業者に日常的に話している。	○			管理者は定着している職員と信頼関係を築き、運営上の方針や目標に具体化し日常的に取り組んでいる。	
2	3 ○運営理念の明示 ホームの運営理念を利用案内時の説明文書及びホームの見やすいところに明示し、かつ、入居者及びその家族等に分かりやすく説明している。	○			玄関の見やすいところに、判りやすく箇条書きに書かれた運営理念は入居者の手書きである。それは共にこうして暮らしましょうというこのホームの気持ちが伝わる温かい明示である。	
3	4 ○権利・義務の明示 利用者の権利・義務を利用案内時の説明文書及び契約書に分かりやすく示し、かつ、入居者及びその家族等に説明し同意を得ている。	○			契約書に明示しており、かつ入居者及び家族等に説明し同意を得ている。更に1週間程度の体験入居後、同意を得た上で契約をしている。	
	2. 運営理念の啓発					
4	5 ○運営理念の啓発 ホームの運営理念や役割が地域に理解されるよう、地域に対する運営理念の啓発・広報に取り組んでいる。（ホームの説明会、ホーム便り等）	○			「なごみ通信」は家族、地域、行政等に広く配布して広報に取り組み、柏市のグループホーム連絡会に加盟し、連携をとることで行政への働きかけや地域に対する運営理念の啓発を進めている。	
運営理念 4項目中 計		4	0	0		
	II 生活空間づくり 1. 家庭的な生活空間づくり					
5	6 ○気軽に入れる玄関まわり等の配慮 違和感や威圧感を感じさせず、入居者や家族が入りやすく、近隣の住民も訪ねやすいよう、玄関まわりや建物の周囲に、家庭的な雰囲気づくりの配慮をしている。（玄関まわりに草花を植える、親しみやすい表札をかける等）	○			違和感も威圧感も無く、玄関が2つある2世帯住宅を訪問したような、どちらへも「お邪魔します」と訪ねたくなるような家庭的な温かい配慮がされている。	
6	7 ○家庭的な共用空間づくり 共用の生活空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、いずれも家庭的な雰囲気を有しており、調度や設備、物品や装飾も家庭的である。	○			清潔感のある、明るい優雅な家庭的な環境が作られている。調度や設備、備品にいたるひとつひとつが、入居者への配慮に満ちている。	

項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能		改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
7	8	○共用空間における居場所の確保 共用空間の中に、入居者が一人になったり気のあった入居者同士で自由に過ごせるような居場所を確保している。	○			広い居間には、畳を配備して季節感のあるコタツを配置、2ユニットどちらからの居間からも出られるウッドデッキに置かれたテーブルと椅子等入居者同士で自由に過ごせる居場所の確保をしている。	
8	9	○入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり 居室には、使い慣れた家具や生活用品・装飾品等が持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっている。	○			居室には、使い慣れた家具や生活用品・装飾品、ご家族の写真も飾られて、安心して過ごせる場所になっている。	
家庭的な生活環境づくり 4項目中 計			4	0	0		
		2. 心身の状態にあわせた生活空間づくり					
9	11	○身体機能の低下を補う配慮 入居者の身体機能の低下にあわせて、安全かつできるだけ自立した生活を送れるようにするための設備や工夫がある。(すべり止めや要所への手すり等の設置、浴槽・便座・流し台等の使い勝手の工夫、物干し等の高さの調節等)	○			スロープと2段ほどの段差で入る事の出来る玄関、最低限度の手すり等安全かつ自立した生活を送る為には出来るだけ人の手の方針で取り組み、ゆとりある職員の配置で、室内は車椅子を使用しない配慮と取り組みを実践している。	
10	13	○場所間違い等の防止策 職員は、入居者一人ひとりがホーム内の場所が分かるかを把握しており、家庭的な雰囲気をこわさずに、場所の間違いや分からないことでの混乱を防ぐための工夫をこらしている。(トイレや部屋の目印等)	○			トイレや居室には、木製の上品な手作りの表札を掛けている。但し入居者のプライドを優先した配慮をしている。	
11	14	○音の大きさや光の強さに対する配慮 入居者が落ち着いて暮らせるように、音の大きさや光の強さに配慮している。(テレビ、職員の会話のトーン、照明の強度、まぶしさ、日射し等)	○			落ち着いて暮せるように、音の大きさや光の強さに配慮している。職員の会話は優しく穏やかで暖かみがある。	
12	15	○換気・空調の配慮 気になる臭いや空気のだよみがないように、換気を適宜行っている。また、冷暖房の温度調節は、冷やし過ぎや暖め過ぎがないように適切に行っている。	○			気になる臭いや空気のだよみは無い。温度調節も適切に行なっている。	
13	17	○時の見当識への配慮 見やすく、馴染みやすい時計や暦を、目につくところに設置している。	○			居室にカレンダーを掛け、好みの時計を置いている。ホーム内のあちこちに季節を感じる歳時記風の見事なパッチワークのタペストリーは月ごとに掛け替えられ、ボランティアと入居者による生け花も季節を実感できる行き届いた配慮がある。	
14	18	○活動意欲を触発する物品の用意 入居者の活動意欲を触発する馴染みの物品を用意し、本人の経験や状況に応じて提供している。(ほうき、たらい、裁縫道具、大工道具、園芸用品、趣味の品等)	○			入居者やご家族との会話から、生活暦や嗜好品・趣味等の情報を元に、ひとり一人の個性を引き出す為の工夫と努力で陶芸や裁縫・囲碁・生け花等提供している。	

心身の状態に合わせた生活空間づくり 6項目中 計	6	0	0		
--------------------------	---	---	---	--	--

項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		Ⅲ ケアサービ 1. ケアマネジメント					
15	20	○個別具体的な介護計画 アセスメントに基づいて、入居者主体の目標を立て、入居者一人ひとりの特徴を踏まえた具体的な介護計画を作成している。	○			一部センター方式のアセスメントにより生活歴、ライフスタイルなどの生活特性を把握し、個々の特徴をとらえた介護計画を作成している。	
16	21	○介護計画の職員間での共有 介護計画を、すべての職員の気づきや意見を取り入れて作っており、すべての職員が計画の内容を知ることができる仕組みを作っている。	○			連絡ノート、ミーティングなどにより職員の気づきを取り入れ、全ての職員によるケアカンファレンスで見直し共有を図っている。	
17	22	○介護計画への入居者・家族の意見の反映 介護計画を、入居者や家族とも相談しながら作成している。	○			入居者の現状をご家族に充分説明し、同時に要望も取り入れて作成している。作成後はご家族に確認しサインをもらっている。	
18	23	○介護計画の見直し 介護計画に実施期間を明示して、その期間が終了する際に見直しを行うことはもとより、状態変化に応じた随時見直しを行っている。	○			変化をチェックし、状態の変化に応じ随時見直しを行なっている。	
19	24	○個別の記録 日々の介護や介護計画に反映させるため、入居者一人ひとりの特徴や変化を具体的に記録している。	○			日常生活の様子、健康状態など克明に記録し、介護計画に反映している。又その介護計画はいつでもご家族が見られるように作成し、プライバシーに配慮されている。	
20	25	○確実な申し送り・情報伝達 職員の申し送りや情報伝達を確実に言い、重要な点はすべての職員に伝わる仕組みを作っている。	○			申し送りノート、業務日誌等で情報を確実に申し送り、毎日のミーティングですべての職員に徹底して共有する仕組みを作っている。	
21	26	○チームケアのための会議 チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、すべての職員で、定期的に（緊急案件がある場合にはその都度）会議を開催し、活発に意見交換を行って合意を図っている。	○			ミーティングにおいて意見交換をして合意を図り、課題を解決している。	
ケアマネジメント 7項目中 計			7	0	0		

項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		2. ホーム内でのくらしの支援(1)介護の基本の実行					
22	27	○入居者一人ひとりの尊重 職員は、常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行っていない。(入居者一人ひとりの違いの尊重、さりげない介助、プライベートな場所での礼儀、本人の返答能力に応じた質問方法、本人が思っている「現実」を否定しない等)	○			職員は、常に入居者ひとり一人の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行っていない。	
23	28	○職員の穏やかな態度 職員の言葉かけや態度はゆったりしており、やさしい雰囲気で見守っている。	○			職員の言葉かけや態度はゆったりと優しい雰囲気で見守っている。	
24	30	○入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア 入居者一人ひとりの生まれてからこれまでの生活歴、本人にとって大切な経験や出来事を知り、その人らしい暮らしや尊厳を支えるためにそれを活かしている。	○			入居者ひとり一人の過去の経験(生活歴、趣味、大切な出来事等)の情報を、入居者本人やご家族から出来るだけ多く集め、その人らしい暮らしや尊厳を支える為に活かしている。	
25	32	○入居者のペースの尊重 職員は、職員側の決まりや都合で業務を進めていく態度ではなく、入居者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるように支えている。	○			職員は入居者が主体である事を念頭にそれぞれのペースで暮らせるように支えている。入居者が雨戸を開ける音を確認して、朝のあいさつとお茶を居室に届けるきめ細かなケアをしている。	
26	33	○入居者の自己決定や希望の表出への支援 職員は、入居者一人ひとりが自分で決めたり希望を表したりすることを大切に、それらを促す取組を日常的に行っている。(選んでもらう場面を作る、選ぶのを待つ等)	○			職員は入居者ひとり一人を尊重する生活と支援が徹底して身について、このことは日常的に行っている。	
27	35	○一人でできることへの配慮 自立支援を図るために、入居者の「できること、できそうなこと」については、手や口を極力出さずに見守ったり一緒に行うようにしている。(場面づくり、環境づくり等)	○			アセスメントを活用し、見守りと声かけで時間をかけて支援している。	
28	37	○身体拘束のないケアの実践 身体拘束は行わないということをすべての職員が正しく認識しており、身体拘束のないケアを実践している。	○			身体拘束のないケアを当然なこととして、実践している。	
29	38	○鍵をかけない工夫 入居者の自由な暮らしを支え、入居者や家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくてもすむような配慮をしている。やむを得ず鍵をかける場合は、その根拠が明白で、その理由を家族に説明している。(外出の察知、外出傾向の把握、近所の理解・協力の促進等)	○			2ユニットとも玄関からの外出が見守りやすい工夫と配慮があり、職員の見守りと気配りで徹底している。管理者と施設長による近隣への理解と協力への促進も出来ている。	

介護の基本の実行 8項目中 計	8	0	0		
-----------------	---	---	---	--	--

項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		(2)日常生活行為の支援 1) 食事					
30	43	○馴染みの食器の使用 家庭的な食器を使っており、茶碗や湯呑み、箸等は、入居者一人ひとりが使い慣れたものになっている。	○			家庭的で使い慣れた食器を使用している。湯のみ、箸等は馴染みのものを持参して使用している。	
31	44	○入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫 入居者一人ひとりの咀嚼・嚥下等の身体機能や便秘・下痢等の健康状態にあわせた調理方法としつつ、おいしそうな盛り付けの工夫をしている。	○			彩りと季節感を大切にしながら、おいしそうな食欲をそそる盛り付けの工夫がされている。個々人の体調の悪い時は適宜状況にあわせている。	
32	45	○個別の栄養摂取状況の把握 入居者一人ひとりの摂取カロリーや水分摂取量、栄養バランスを、一日全体を通じておおよそ把握している。	○			ひとり一人の食事、水分量を把握している。栄養士による摂取カロリー計算も行なっている。又、糖尿病の方には見た目は一緒に糖を抑える等の行き届いた配慮をしている。	
33	47	○食事を楽しむことのできる支援 職員も入居者と同じ食事を一緒に楽しんで食べながら、食べ方の混乱や食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行っている。	○			何度も席を外す入居者がいるが、さりげない介助をしながら、職員も一緒に食卓を囲みゆつくと楽しんでいた。	
		2) 排泄					
34	48	○排泄パターンに応じた個別の排泄支援 おむつをできる限り使用しないで済むように、入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	○			排泄パターンを把握して、おむつを出来るだけ使用しないケアに取り組み、早めにトイレ誘導する等で自立に向けた支援をしている。その際本人と他の方への配慮をしている。	
35	50	○排泄時の不安や羞恥心等への配慮 排泄の誘導・介助や確認、失禁の対応は、不安や羞恥心、プライバシーに配慮して行っている。	○			職員全員が特に注意して、「家の中を散歩しましょう」等ひとり一人にあわせた声かけをして、プライバシーに配慮している。	
		3) 入浴					
36	53	○入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援 入居者一人ひとりの希望にあわせ、くつろいだ入浴ができるように支援している。(時間帯、長さ、回数等)	○			毎日何時でも希望に合わせ、くつろいだ入浴ができるよう支援している。状態にあわせ、足浴、清拭を実施している。	
		4) 整容					
37	56	○理美容院の利用支援 入居者一人ひとりの希望にあわせて、理美容院の利用を支援している。(カット、パーマ、染め、セット等)	○			ひとり一人の希望に合わせ、行きつけの理美容院の利用を支援している。	

項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
38	57	○プライドを大切にした整容の支援 整容の乱れ、汚れ等に対し、プライドを大切にしたりげなくカバーしている。(髭、着衣、履き物、食べこぼし、口の周囲等)	○			プライドを傷つけないように言葉使い、態度に十分配慮して、さりげない支援をしている。入居者は着衣、整容の乱れもなくさっぱりとしたおしやれをしている。	
		5) 睡眠・休息					
39	60	○安眠の支援 入居者一人ひとりの睡眠の 패턴を把握し、夜眠れない入居者には、1日の生活リズムづくりを通した安眠策を取っている。	○			睡眠パターンを把握して、日中散歩や買い物等生活リズムを作り、安眠策を取っている。昼夜逆転ありで入居した方も生活リズムの改善に取り組んでいる。	
日常生活行為の支援 10項目中 計			10	0	0		
		(3)生活支援					
40	64	○金銭管理の支援 入居者が自分でお金を持つことの大切さを職員が分かっており、日常の金銭管理を本人が行えるよう、入居者一人ひとりの希望や力量に応じて支援している。	○			ご本人とご家族に相談して、個人個人の力量にあわせた金額で支援している。	
		(4)ホーム内生活拡充支援					
41	66	○ホーム内の役割・楽しみごとの支援 ホーム内で入居者一人ひとりが楽しみごとや出番を見い出せるよう、場面づくり等の支援を行っている。(テレビ番組、週刊誌、園芸、食器洗い、掃除、洗濯物たたみ、小動物の世話、新聞取り等)	○			生活暦を把握して、ホーム内の生け花、洗濯干し、園芸等積極的に場面作りの支援を行なっている。	
生活支援 2項目中 計			2	0	0		
		(5)医療機関の受診等の支援					
42	68	○医療関係者への相談 心身の変化や異常発生時に、気軽に相談できる医療関係者を確保している。(医師、歯科医師、保健婦、看護婦等)	○			なごみの家からの長いお付き合いで、信頼関係にある医療機関を確保して、月2回の定期的な訪問診療の他緊急時は何時でも主治医が駆けつけてくれる。日常は常駐の看護師による心身の変化を把握、記録して医療機関に情報を伝えている。	
43	73	○早期退院に向けた医療機関との連携 入院した場合、早期退院のための話しあいや協力を医療機関と行っている。	○			認知症進行緩和を、ご家族、医療機関と随時話し合い早期退院を実施している。	
44	74	○定期健康診断の支援 年に最低1回は、健康診断や医師の指導を受けられるように支援している。開設間もないホームは、健康診断を受けられる準備や体制を整えている。	○			主治医による胸部X線、予防注射、健康診断を受けている。	

項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		(6)心身の機能回復に向けた支援					
45	76	○身体機能の維持 痴呆の人の身体面の機能低下の特徴(筋力低下、平衡感覚の悪化、嚥下機能の低下等)を理解し、買い物や散歩、調理、楽しみごと等の日常生活の中で自然に維持・向上するように取り組んでいる。	○			散歩、買い物は「ちち」と「中丸市場」・「京氏」・「アサヒ」等の広い庭での軽い体操と日常生活の中で身体的ADLの維持、向上を目指している。庭にしつらえてあるテーブルと椅子は、散歩から帰った時、体操の後、一休みしてお茶を楽しむ入居者の様子は楽しそうで会話が弾んでいる。職員が楽しみごととして、自然に取り組んでいる姿勢がうかがえた。	
		(7)入居者同士の交流支援					
46	78	○トラブルへの対応 職員は、入居者同士のけんかやトラブルの原因を把握し、必要な場合にはその解消に努め、当事者や他の入居者に不安や支障を生じさせないようにしている。	○			十分原因を把握して、職員一同で対応策を検討、解消に努めている。	
		(8)健康管理					
47	80	○口腔内の清潔保持 入居者の力を引き出しながら、口の中の汚れや臭いが生じないように、口腔の清潔を日常的に支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェック等)	○			混乱を避けるため、歯ブラシは戸棚に収め、食後声かけと歯ブラシの手渡しにて支援している。訪問歯科医師の口腔内チェック、指導も受けている。	
48	83	○服薬の支援 職員は、入居者が使用する薬の目的や副作用、用法や用量を承知しており、入居者一人ひとりが医師の指示どおりに服薬できるよう支援し、症状の変化を確認している。	○			職員は薬の目的・用法・副作用を周知しており、入居者ひとり一人が医師の支持どおり服薬できるよう支援している。薬箱に個人個人の名前を書き込み毎日管理し、どの職員でも確実な対応が出来るようになっている。	
49	85	○緊急時の手当 入居者のけが等の緊急時に、職員は応急手当を行うことができる。(けが、骨折、発作、のど詰まり等)	○			職員は(有)ナースネットの研修を受けており、看護師もいるため応急手当は何時でも可能な体制が出来ている。又、全職員が消防署の救急対応研修も受けている。	
50	86	○感染症対策 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA等)	○			予防の大切さを周知している管理者は主治医に相談したり、保健所の職員による研修を開いている。感染症マニュアル等も活用している。	
医療・健康支援 9項目中 計			9	0	0		

項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		3. 入居者の地域での生活の支援					
51	90	○ホームに閉じこもらない生活の支援 入居者が、ホームの中だけで過ごさずに、積極的に近所に出かけて楽しめるような雰囲気を作っている。(買い物、散歩、近隣訪問、集会参加等)	○			散歩、買い物、近隣訪問、地域の行事等積極的に出かけたり、又、なごみの家との交流やイベント参加、個人的に外出や外食の希望も受け入れ楽しめるような雰囲気作りと支援をしている。	
地域生活 1項目中 計			1	0	0		
		4. 入居者と家族との交流支援					
52	94	○家族の訪問支援 家族が気軽に訪問でき、訪問時は居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。(来やすい雰囲気、歓迎、関係再構築の支援、湯茶の自由利用、居室への宿泊のしやすさ等)	○			家族や友人の来訪も多く、何時でも気軽に訪問出来、居心地良く過ごせる雰囲気作りが出来ている。	
家族との交流支援 1項目中 計			1	0	0		
		IV 運営体制 1. 事業の統合性					
53	96	○責任者の協働 法人代表者及び管理者は、ケアサービスの質の向上に熱意を持ち、それぞれの権限や責任をふまえて、共に取り組んでいる。	○			法人代表はグループホームの理念の実現に熱意を持ち、管理者と職員一同はそれを受け止め、ケアサービスの質の向上に最善の努力を日々重ねている。	
54	97	○職員の意見の反映 介護従業者の採用、運営方法、入居者の受入れや入居継続の可否については、職員の意見を聞いている。	○			入居者の受け入れは体験期間を設け、職員の意見を聞き反映させている。ケアに関してもミーティングの場において、意見を聞き十分に反映できるようにしている。	
		2. 職員の確保・育成					
55	101	○入居者の状態に応じた職員の確保 入居者の状態や生活の流れを支援するために、これに即した職員の勤務ローテーションを組んでいる。	○			食事作りの職員と夜勤専門の職員を別途配置して、常にゆとりある体制になっている。	
56	103	○継続的な研修の受講 職員が、採用時、フォローアップ等それぞれの段階に応じた研修を受講し、その内容をすべての職員に周知している。	○			施設内において、導入研修、認知症研修等の実施、又段階に応じた外部研修にも参加している。	
57	105	○ストレスの解消策の実施 職員の業務上の悩みやストレスを解消する方策を採り入れている。(外部者と接する機会、職員相互の親睦、悩みの聴取、スーパーバイザーの導入等)	○			風通しの良い職場作りに努めている。夜勤専門職員の採用により、日勤者全員の親睦会を開くなど、ストレス解消の方策を採り入れている。	

項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		3. 入居時及び退居時の対応方針					
58	107	○入居者の決定のための検討 グループホームに適した入居対象者であるか、十分に検討している。(介護保険被保険者証、診断書、入居申請に至る経過、生活や対人関係、入居者・家族の希望等)	○			本人、家族と話し合い、状況の聞き取りをした後、1週間程度の体験入居を経て入居者、家族、職員間で十分な話し合いを持ち、入居決定をしている。	
59	109	○退居の支援 退居は、契約に基づくとともにその決定過程が明確である。また、入居者や家族に十分な説明を行った上で、納得のいく退居先に移れるように支援している。退居事例がない場合は、その体制がある。	○			特養、老健とも連携を密にして、その他の情報も出来る限り収集に努めて、本人、家族の希望に添うよう退去の支援をしている。	
		4. 衛生・安全管理					
60	112	○ホーム内の衛生管理 ホーム内の清潔や衛生を保持している。(食品、布巾、包丁、まな板、冷蔵庫、洗濯機等)	○			ホーム内はどこも清潔であり、衛生を保持している。特に食べ物には神経を使い徹底を図り、定期的に除菌、殺菌をしている。	
61	114	○注意の必要な物品の保管・管理 薬や洗剤、刃物等の注意の必要な物品については、保管場所、管理方法等を明確に取り決め、かつ、そのとおりに実行している。	○			(有)ナースネットの研修を受講している職員は十分注意する事を承知して、明確に取り決め実行している。	
62	116	○事故の報告書と活用 けが、転倒、窒息、意識不明、行方不明等の緊急事態が発生した場合、事故報告をまとめており、サービスの改善につなげている。(再発防止の話しあい、今後に活かす意義づけ等)	○			ヒヤリハット報告書、事故報告書により、スタッフ会議で話し合い、原因対応、再発防止への徹底を図っている。	
内部の運営体制 10項目中 計			10	0	0		
		5. 情報の開示・提供					
63	118	○調査等の訪問に対する対応 介護相談員や評価調査員等の訪問時には、情報を積極的に提供している。	○			積極的に情報を提供している。	
		6. 相談・苦情への対応					
64	119	○相談・苦情受付の明示 相談や苦情を受け入れるホーム側の窓口及び職員が明確であり、入居者及び家族にその利用の仕方を文書と口頭で繰り返し伝えている。	○			窓口を明示しているほか、全員の家族と連絡を密に取り来訪時には積極的に会話をし、繰り返し伝えている。	

		情報・相談・苦情 2項目中 計	2	0	0		
項目番号		項 目	できて いる	要 改善	評 価 不 能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
		7. ホームと家族との交流					
65	122	○家族の意見や要望を引き出す働きかけ 家族が、気がかりなことや、意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談したりできるように、面会時の声かけ、定期的連絡等を積極的に行っている。	○			家族の来訪時や手紙により日常の様子を伝えるなどする他、運営委員会においても働きかけている。	
66	123	○家族への日常の様子に関する情報提供 家族に、入居者の暮らしぶりや日常の様子を定期的、具体的に伝えている。（「たより」の発行や行事ビデオの上映、写真の送付等）	○			「なごみ通信」を発行し情報を提供するのはもちろん、多くの行事、イベントに家族が参加し共に楽しんでいる。	
67	126	○入居者の金銭管理 入居者が金銭の管理ができない場合には、その代替方法を家族と相談の上定めており、家族に定期的にその出納を明らかにしている。	○			本人、家族の希望に添って実施し、管理が出来ない入居者には立替にて対応している。家族には毎月出納を明らかにしている。	
ホームと家族との交流 3項目中 計			3	0	0		
		8. ホームと地域との交流					
68	127	○市町村との関わり 市町村との連絡を密にとり、家族介護教室等の市町村事業を積極的に受託している。	○			柏市高齢者福祉課等と連絡を密にしている。又柏市グループホーム連絡会の会長として行政との連携に努めたり、運営推進会議を開催し、市職員、地域代表・家族とのつながりを作っている。	
69	130	○地域の人達との交流の促進 地域の人達が、遊びに来たり立ち寄ってくれたりするように取り組んでいる。	○			地域の行事、お祭りに招待されて参加したり、地域の人達がコンサートや舞踊等をホームで開催している。入居者の友人や同級生も立ち寄っている。	
70	132	○周辺施設等の理解・協力への働きかけ 入居者の生活の安定や拡がりのために、周辺地域の諸施設から協力を得ることができるよう、理解を拡げる働きかけを行っている。（商店、福祉施設、警察、消防、文化教育施設等）	○			スーパーマーケットの中に福祉事業団に協力を呼びかける箱があり、レシートを入れてもらって還元を受けている。消防署・警察・学校等入居者の生活の拡がりのために、諸施設からの協力と理解を得るよう働きかけを行なっている。	
71	133	○ホーム機能の地域への還元 ホームの機能を、入居者のケアに配慮しつつ地域に開放している。（痴呆の理解や関わり方についての相談対応・教室の開催、家族・ボランティア等の見学・研修の受入れ等）	○			入居者に配慮しつつ、見学を受け入れている。又、各団体からの要請で地域の方へ認知症研修の講師として参加している。	
ホームと地域との交流 4項目中 計			4	0	0		

- ※ (1)「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
(2)「職員」には、管理者及び非常職員を含む。

2. 調査報告概要表

全体を通して(※このホームの優れている点、独自に工夫している点など)	
「ハ」の字型に配置された2ユニットのホームは広い庭に面した贅沢な平屋建てで、上質な家庭の温かさが伝わるホームである。法人代表の永年のお付き合いから出来た「なごみの家を支える会」があり、ボランティアとして日常の生活、行事、相談事など何かにつけて支えてくれている。人の手による介護を基本として、ゆとりある職員の配置で安心と尊厳のある利用者の立場に立った、自立した生活を送れるよう取り組み努力している。法人代表は入居者の生活が円滑に送れるよう医師、保健所、行政その他様々な場面で社会の力を活用し、地域にグループホームを社会資源として定着させている。	
分野	特記事項(※優先順位の高い要改善点について)
I	要改善点は特になし。県内のグループホームの連携を図ることが期待される。
運営理念	
II	要改善点は特になし。
生活空間づくり	
III	更なるアセスメントの充実に期待する。
ケアサービス	
IV	要改善点は特になし。現状の維持に期待する。
運営体制	

分野・領域		項目数	「できている」項目数
			外部評価
I 運営理念			
①	運営理念	4項目	4
II 生活空間づくり			
②	家庭的な生活環境づくり	4項目	4
③	心身の状態に合わせた生活空間づくり	6項目	6
III ケアサービス			
④	ケアマネジメント	7項目	7
⑤	介護の基本の実行	8項目	8
⑥	日常生活行為の支援	10項目	10
⑦	生活支援	2項目	2
⑧	医療・健康支援	9項目	9
⑨	地域生活	1項目	1
⑩	家族との交流支援	1項目	1
IV 運営体制			
⑪	内部の運営体制	10項目	10
⑫	情報・相談・苦情	2項目	2
⑬	ホームと家族との交流	3項目	3
⑭	ホームと地域との交流	4項目	4